

鉛含有製品の削減管理と塗料無鉛化の取り組み

問題となる物質クロム酸鉛

メラミン樹脂塗料、アクリル樹脂塗料等の溶剤焼付け塗料、特に赤色系、青色系、黄色系、緑色系に使用される顔料の中にクロム酸鉛という物質が含まれています。

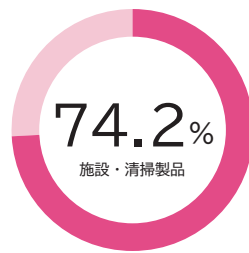
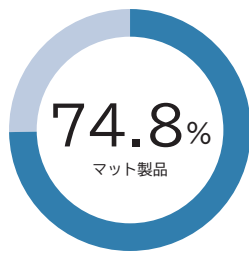
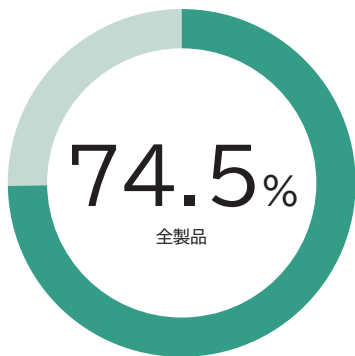
クロム酸鉛は劇薬に指定されています。鉛、クロム酸鉛の色顔料は作業性が良く、経年による色の変化が少なく安価である為広く使われてきたというのが現状です。塗料メーカーも最近、鉛入りの塗料を無鉛塗料に変えてはいますが、原色系の塗料が有鉛塗料に比べかなり高価になり、色が合わせ難いという事もあり、溶剤焼付け塗料の中にまだまだ有鉛塗料が使用されているのが多いのが現状です。

鉛の有害性について

前述の通り、クロム酸鉛とは劇薬にも指定されています。鉛の有害性としましては、急性的なもので、嘔吐、腹痛、ふらつき、痙攣、昏睡という症状があらわれる場合があります。慢性的なものでは興奮、食欲不振、無気力、発達上の能力の喪失、知能低下などの症状があらわれる場合があるのです。

こういった事からも有鉛塗料は環境、人体に悪影響を及ぼす危険性があるという事が分かります。

鉛の有害性について



※ 2023年8月20日現在
 ※ 天然素材等、最初から含んでいない製品は規定値クリア外として集計。
 ※ 質量に対する鉛含有0.1wt%以下。

鉛塗料使用の問題点

鉛入り塗料の問題点として、まず塗装時に作業者が鉛を吸引してしまうという事があります。また大気中に鉛化合物が放出されてしまうという事が考えられます。

その後、鉛入り塗料の製品は通常、使用中には特に問題ありませんが、錆び等で塗装が剥がれ落ちる事で大気中に放出されます。また鉄くずとして再生する際、加熱して溶かす事により大気中に放出される等があります。

ミツシマ工業の取り組み

このなかで京都工場は2001年10月にISO14001を取得しています。

環境美化用品メーカーのバイオニアとして、人、地球環境にやさしい製品作りを目指しているミツシマ工業としましては、この規格を取得したのを機に、溶剤焼付け塗料全ての製品に関してクロム酸鉛の入っていない塗料を使用しています。さらに塗料だけでなく、鉛含有削減に向けて対応を進めています。ミツシマ工業は無鉛化により優れた製品特徴と環境面での優位性を提案します。

リサイクルの取り組み

3Rの取り組み

昨今、大きく取り上げられている地球環境問題の一つに、産業廃棄物・ゴミの処理焼却があります。廃棄物や地球温暖化問題の解決に、真摯に取り組む私たちミツシマでは、これらの産業廃棄物やゴミを「捨てる」のではなく、「活かす」リサイクル型のシステム導入をすすめています。

すなわち、Recycle (リサイクル：再資源化)・Reduce (リデュース：廃棄物の発生抑制)・Reuse (リユース：再利用) といった3つのRを、企業活動に複合的にシステム化することによって、循環の流れを構築し、資源の最大有効活用に貢献していきたいと考えております。

これらの活動は、施設ユーザー様、原料メーカー様、ミツシマが一体となって製品を回収し、積極的に再利用する事から始まります。皆様方のご協力を願います次第です。



「塩ビマット」リサイクルシステムの仕組み

特定の買い替え製品をご注文いただきますと、ご使用されていた古い当社特定製品を回収し新しい同じ製品を納入させていただきます。なお回収の場合は、事前にご連絡していただく必要があります。



リサイクルシステム対象製品

